

笠岡市では、H29年10月より

「認知症初期集中支援推進事業」を開始しています。

＜ 目的 ＞

認知症になっても**本人の意志が尊重**され、できる限り**住み慣れた地域で安心**して暮らし続けられるために、認知症の**早期診断・早期対応**に向けた支援体制を構築することを目的とした事業です。

＜ 事業の内容 ＞

- ◆下記の方々を対象とし、医療と生活をつなぎ、自立した生活を支援します。
- ◆認知症専門医との連携により、関わる職員のスキルアップを図ります。

＜ 具体的には ＞

- ◆家庭訪問（対象者の把握・情報収集・アセスメント）
- ◆必要な支援につなげ、関係機関との連携を行う。
- ◆チーム員会議・初期集中支援チーム検討委員会の開催 など



＜ 対象者 ＞

40 歳以上の在宅生活者で“認知症が疑われる人”または“認知症の人”のうち、医療機関との連携が必要な人。  
（※認知症の初期段階とは限らず、中期でも医療や介護との接触がこれまでなかった人も含む）

＜ 従事者 ＞

- ◆チーム員：医療職と介護職のペア  
⇒笠岡市地域包括支援センター・笠岡市まるごと支援推進課
- ◆専門医：きのこエスポアール認知症疾患医療センター
- ◆事務局：笠岡市役所（長寿支援課・まるごと支援推進課）

